

令和 7 年度 実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード) 37-FE250-06-01-02

委 託 名 令和7年度（道補）橋梁点検（堀之内外）業務委託

路線河川名	委 託 箇 所	藤枝市堀之内外地内
-------	---------	-----------

委託金額

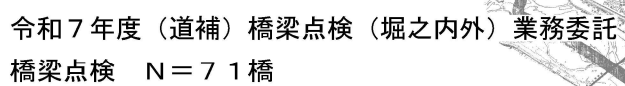
委 託 期 間 令和 8 年 2 月 2 7 日限り

委託概要	橋梁点検	71	橋
------	------	----	---

歩掛・単価適用年度 令和 7年 6月 基本単価 令和 7年 6月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定

S=1 : 10000



測量試験費内訳表（総括）

[illegible]

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路施設点検業務委託					
直接人件費					
橋梁点検					
	橋	71			コメント行 数量コードN
- 施設点検業務					
	式	1			
-- 施設点検業務					
	式	1			
--- 橋梁定期点検業務					
	式	1			
---- 定期点検 特定の溝橋等以外 幅員8m程度、5を超え10以下					施設第 1号表 ME001
	橋	30			数量コードN2
---- 定期点検 特定の溝橋等以外 幅員8m程度、10を超え15以下					施設第 5号表 ME002
	橋	28			数量コードN3
---- 定期点検 特定の溝橋等以外 幅員8m程度、15を超え20以下					施設第 9号表 ME003
	橋	4			数量コードN4

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 定期点検 特定の溝橋等以外 幅員8m程度、20を超え30以下	橋	2			施設第 13号表 ME004 数量コードN5
---- 定期点検 特定の溝橋等以外 幅員12m程度、30を超え50以下	橋	3			施設第 17号表 ME036 数量コードN6
---- 定期点検 特定の溝橋等以外 幅員12m程度、50を超える	橋	4			施設第 21号表 ME043 数量コードN7
---- ロープアクセス点検	日				施設第 25号表 ME033 数量コードRA
---- 打合せ協議	業務	1			施設第 26号表 ME025
直接人件費計					
直接経費					
事務用品費（道路点検のみ）	式	1			
旅費交通費（率）（区分：調査、計画）	式	1			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電子成果品作成費（その他）					
機械経費	式	1			施設第 30号表ME029
安全費	式	1			施設第 41号表ME031
	式	1			
直接経費計					
直接原価					
その他原価					
	式	1			
業務原価					
一般管理費等					
	式	1			
業務価格計					

ME001						施設第 1号表	
金 円 10 橋 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
計画準備 幅員8m程度、5を超え10以下		橋	10			施設第 2号表	ME009
定期点検 幅員8m程度、5を超え10以下		橋	10			施設第 3号表	ME016
報告書作成 幅員8m程度、5を超え10以下		橋	10			施設第 4号表	ME021
計							
単価		橋					

ME009						計画準備 幅員8m程度、5を超え10以下	施設第 2号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師							#
			人				
技師 (A)							#
			人				
技師 (B)							#
			人				
技師 (C)							#
			人				
技術員							#
			人				
計							
単価							
			橋				

ME O 1 6		定期点検 幅員8m程度、5を超え10以下		施設第 3号表	
金	円	10 橋 当り			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
技師 (B)					
		人			#
技師 (C)					
		人			#
技術員					
		人			#
計					
単価					
		橋			

ME O 2 1

報告書作成
幅員8m程度、5を超え10以下

施設第 4号表

金	円	10 橋 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師					#
	人				
技師 (A)					#
	人				
技師 (B)					#
	人				
技師 (C)					#
	人				
技術員					#
	人				
計					
単価					
	橋				

ME002						施設第 5号表	
金 円 10 橋 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
計画準備 幅員8m程度、10を超え15以下		橋	10			施設第 6号表	ME010
定期点検 幅員8m程度、10を超え15以下		橋	10			施設第 7号表	ME017
報告書作成 幅員8m程度、10を超え15以下		橋	10			施設第 8号表	ME022
計							
単価		橋					

ME O 1 O						計画準備 幅員8m程度、10を超え15以下	施設第 6号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師							#
			人				
技師 (A)							#
			人				
技師 (B)							#
			人				
技師 (C)							#
			人				
技術員							#
			人				
計							
単価							
			橋				

ME O 1 7

定期点検
幅員8m程度、10を超え15以下

施設第 7号表

金 円 10 橋 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				#
技師 (C)					#
技術員	人				#
計					
単価	橋				

ME O 2 2

報告書作成
幅員8m程度、10を超え15以下

施設第 8号表

金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師						#
		人				
技師 (A)						#
		人				
技師 (B)						#
		人				
技師 (C)						#
		人				
技術員						#
		人				
計						
単価						
		橋				

ME003						施設第 9号表	
金 円 10 橋 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
計画準備 幅員8m程度、15を超え20以下		橋	10			施設第 10号表	ME011
定期点検 幅員8m程度、15を超え20以下		橋	10			施設第 11号表	ME018
報告書作成 幅員8m程度、15を超え20以下		橋	10			施設第 12号表	ME023
計							
単価		橋					

ME O 1 1

計画準備
幅員8m程度、15を超え20以下

施設第 10号表

金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師						#
		人				
技師 (A)						#
		人				
技師 (B)						#
		人				
技師 (C)						#
		人				
技術員						#
		人				
計						
単価						
		橋				

ME 018						定期点検 幅員8m程度、15を超え20以下	施設第 11号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)							#
			人				
技師 (C)							#
			人				
技術員							#
			人				
計							
単価							
			橋				

ME023						報告書作成 幅員8m程度、15を超え20以下	施設第 12号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師							#
			人				#
技師 (A)							#
			人				#
技師 (B)							#
			人				#
技師 (C)							#
			人				#
技術員							#
			人				#
計							
単価							
			橋				

ME004						施設第 13号表	
金 円 10 橋 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
計画準備 幅員8m程度、20を超え30以下		橋	10			施設第 14号表	ME012
定期点検 幅員8m程度、20を超え30以下		橋	10			施設第 15号表	ME019
報告書作成 幅員8m程度、20を超え30以下		橋	10			施設第 16号表	ME024
計							
単価		橋					

ME O 1 2

計画準備
幅員8m程度、20を超え30以下

施設第 14号表

金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師						#
		人				
技師 (A)						#
		人				
技師 (B)						#
		人				
技師 (C)						#
		人				
技術員						#
		人				
計						
単価						
		橋				

ME019						定期点検 幅員8m程度、20を超え30以下	施設第 15号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)							#
			人				
技師 (C)							#
			人				
技術員							#
			人				
計							
単価							
			橋				

ME O 2 4

報告書作成
幅員8m程度、20を超え30以下

施設第 16号表

金	円	10 橋 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師					#
	人				
技師 (A)					#
	人				
技師 (B)					#
	人				
技師 (C)					#
	人				
技術員					#
	人				
計					
単価					
	橋				

ME036						施設第 17号表	
金 円 10 橋 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
計画準備 幅員12m程度、30を超え50以下		橋	10			施設第 18号表	ME037
定期点検 幅員12m程度、30を超え50以下		橋	10			施設第 19号表	ME038
報告書作成 幅員12m程度、30を超え50以下		橋	10			施設第 20号表	ME039
計							
単価		橋					

ME O 3 7		計画準備 幅員12m程度、30を超え50以下		施設第 18号表		
金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師						#
		人				
技師 (A)						#
		人				
技師 (B)						#
		人				
技師 (C)						#
		人				
技術員						#
		人				
計						
単価						
		橋				

ME038		定期点検 幅員12m程度、30を超え50以下		施設第 19号表		
金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)		人				#
技師 (C)						#
技術員		人				#
計						
単価		橋				

ME039

報告書作成
幅員12m程度、30を超え50以下

施設第 20号表

金	円	10 橋 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師					#
	人				
技師 (A)					#
	人				
技師 (B)					#
	人				
技師 (C)					#
	人				
技術員					#
	人				
計					
単価					
	橋				

ME043						施設第 21号表	
金 円 10 橋 当り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
計画準備 幅員12m程度、50を超える		橋	10			施設第 22号表	ME040
定期点検 幅員12m程度、50を超える		橋	10			施設第 23号表	ME041
報告書作成 幅員12m程度、50を超える		橋	10			施設第 24号表	ME042
計							
単価		橋					

ME O 4 O		計画準備 幅員12m程度、50を超える		施設第 22号表		
金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師						#
		人				
技師 (A)						#
		人				
技師 (B)						#
		人				
技師 (C)						#
		人				
技術員						#
		人				
計						
単価						
		橋				

ME O 4 1						定期点検 幅員12m程度、50を超える	施設第 23号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)							#
			人				
技師 (C)							#
			人				
技術員							#
			人				
計							
単価							
			橋				

ME O 4 2

報告書作成
幅員12m程度、50を超える

施設第 24号表

金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師						#
		人				
技師 (A)						#
		人				
技師 (B)						#
		人				
技師 (C)						#
		人				
技術員						#
		人				
計						
単価						
		橋				

ME033		ロープアクセス点検				施設第 25号表	
金 円		1 日 当り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
主任技師						1 #	
		人					
技師 (A)						1 #	
		人					
技師 (B)						1 #	
		人					
機械経費							
		%					
材料費							
		%					
計							

ME025

打合せ協議

施設第 26号表

金	円	1 業務 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
打合せ協議 業務着手時	回	1			施設第 27号表 ME026
打合せ協議 中間打合せ	回	2			施設第 28号表 ME027
打合せ協議 成果品納入時	回	1			施設第 29号表 ME028
計					

ME O 2 6

打合せ協議
業務着手時

施設第 27号表

金 円 1 回 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
主任技師					#
	人				
技師 (B)					#
	人				
計					

ME O 2 7

打合せ協議
中間打合せ

施設第 28号表

金 円 1 回 当 り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)					#
	人				
技師 (C)					#
	人				
計					

ME028						打合せ協議 成果品納入時	施設第 29号表
金 円 1 回 当 り							
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
主任技師							#
		人					
技師 (B)							#
		人					
計							

ME 0 2 9						施設第 3 0 号表	
金 円			1 式 当り				
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
機械経費 橋長5を超え15以下			橋	1 2			施設第 3 1 号表 ME 0 3 0
機械経費 橋長15を超え20以下			橋	1			施設第 3 3 号表 ME 0 6 4
機械経費 橋長20を超え30以下			橋	1			施設第 3 4 号表 ME 0 3 4
機械経費 橋長30を超え50以下			橋	1			施設第 3 6 号表 ME 0 4 4
機械経費 橋長50を超える			橋	2			施設第 3 8 号表 ME 0 4 5
機械経費 高所作業車			日				施設第 4 0 号表 ME 0 4 6
計							

ME030						機械経費 橋長5を超え15以下	施設第 31号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長15mを超え20m以下			日				施設第 32号表
計							
単価			橋				

橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長15mを超え20m以下						施設第 32号表
金 円		1 日 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)						
		人				
軽油 パトロール給油						
		L				
橋梁点検車 BT-200 賃貸期間1か月超						
		日				
諸 雑 費						
		式	1			
計						

ME 0 6 4						機械経費 橋長15を超え20以下	施設第 33号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長15mを超え20m以下			日				施設第 32号表
計							
単価			橋				

ME034						機械経費 橋長20を超え30以下	施設第 34号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長20mを超え30m以下			日				施設第 35号表
計							
単価			橋				

橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長20mを超え30m以下						施設第 35号表
金 円 1 日 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)						
		人				
軽油 パトロール給油						
		L				
橋梁点検車 BT-200 賃貸期間1か月超						
		日				
諸 雑 費						
		式	1			
計						

ME O 4 4						機械経費 橋長30を超え50以下	施設第 36号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長30mを超え50m以下			日				施設第 37号表
計							
単価			橋				

金 円 1 日 当 り						施設第 37号表	
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)			人				
軽油 パトロール給油			L				
橋梁点検車 BT - 200 賃貸期間1か月超			日				
諸 雑 費			式	1			
計							

ME045					
機械経費 橋長50を超える					
施設第 38号表					
金 円 10 橋 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
橋梁点検車 (静岡県橋梁点検) 橋長50mを超える		日			
計					
単価		橋			

橋梁点検車 (静岡県橋梁点検)
橋長50mを超える
施設第 39号表

金 円 1 日 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
運転手 (一般)		人			
軽油 パトロール給油		L			
橋梁点検車 BT-200 賃貸期間1か月超		日			
諸 雑 費		式	1		
計					

ME046						機械経費 高所作業車	施設第 40号表
金	円	1 日 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
運転手 (特殊)						#	
		人					
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド							
		L	15.66				
高所作業車 トラック架装 ブーム型 作業床高16m							
		日					
諸雑費							
		式	1				
計							

ME031		安全費		施設第 41号表		
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
安全費 橋長5を超え15以下		橋	12			施設第 42号表 ME032
安全費 橋長15を超え20以下		橋	2			施設第 43号表 ME065
安全費 橋長20を超え30以下		橋	1			施設第 44号表 ME035 3
安全費 橋長30を超え50以下		橋	1			施設第 45号表 ME047
安全費 橋長50を超える		橋	4			施設第 46号表 ME048
計						

ME032						安全費 橋長5を超え15以下	施設第 42号表
金	円	10 橋 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B							
			人	12			
計							
単価							
			橋				

ME 0 6 5

安全費

橋長15を超え20以下

施設第 43号表

金

円

10 橋 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B	人	13.8			
計					
単価	橋				

ME035

安全費
橋長20を超え30以下

施設第 44号表

金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	16.2			
計						
単価		橋				

ME O 4 7

安全費
橋長30を超え50以下

施設第 4 5号表

金 円 10 橋 当り

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B	人	20. 4			
計					
単価	橋				

ME048		安全費 橋長50を超える		施設第 46号表		
金	円	10 橋 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人	20.4			
計						
単価		橋				

橋長点検			数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式				
ロープアクセス	R A (0 2)	= 8				
		= 8.000				
					
5-10m	N 2 (0 2)	= 30				
		= 30.000				
					
10-15m	N 3 (0 2)	= 28				
		= 28.000				
					
15-20m	N 4 (0 2)	= 4				
		= 4.000				
					
20-30m	N 5 (0 2)	= 2				
		= 2.000				
					
30-50m	N 6 (0 2)	= 3				
		= 3.000				
					
50mを超える	N 7 (0 2)	= 4				

橋長点検			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
50mを超える 					

令和7年度（道補）橋梁点検（堀之内外）業務委託 点検リスト

N o.	施設名	施設名 フリガナ	橋長	路線名	点検手法
1	6001号橋	6001ゴウハン	6	市道6地区4号線	徒歩梯子
2	8084号橋	8084ゴウハン	6.2	市道8地区245号線	徒歩梯子
3	岩出橋	イワデハン	7.5	市道竹之花大沢線	徒歩梯子
4	瀬古堀ノ内橋	セコホリノウチバシ	7.6	市道7地区166号線	徒歩梯子
5	築地橋	ツイジバシ	7.6	市道本町大東町線	徒歩梯子
6	谷塚橋	タニツカバシ	7.7	市道新舟笹川線	徒歩梯子
7	滝ノ谷見行事橋	タキノヤミギョウジバシ	7.8	市道8地区153号線	徒歩梯子
8	4120号橋	4120ゴウハン	7.9	市道4地区351号線	徒歩梯子
9	西方奥沢山橋	ニシカタオクサヤマバシ	8	市道西方中里線	徒歩梯子
10	稲川砂田橋	イナガワシナダバシ	8.1	市道益津稲川線	徒歩梯子
11	廻沢線3号橋	メグリサワセン3ゴウキョウ	8.2	市道廻沢線	徒歩梯子
12	子持坂中央線1号橋	コモチザカチュウオウセン1ゴウキョウ	8.4	市道子持坂中央線	徒歩梯子
13	1077号橋	1077ゴウハン	8.5	市道1地区95号線	徒歩梯子
14	横行寺橋	オウギョウジバシ	8.6	市道西方中里線	徒歩梯子
15	玉取沢本線1号橋	タマトリサワホンセン1ゴウキョウ	7.6	市道玉取沢本線	徒歩梯子
16	志太大官島橋	シダダイカンジマバシ	8.7	市道志太大官島線	徒歩梯子
17	2069号橋	2069ゴウハン	8.9	市道2地区121号線	徒歩梯子
18	岡部板沢線2号橋	オカベイタザワセン2ゴウキョウ	9.1	市道岡部板沢線	徒歩梯子
19	木屋川橋	キヤガワバシ	9.1	市道3地区5号線	徒歩梯子
20	7115号橋	7115ゴウハン	9.2	市道7地区438号線	徒歩梯子
21	新田橋	シンデンバシ	9.4	市道竹之花大沢線	徒歩梯子
22	境橋	サカイバシ	9.4	市道1地区95号線	徒歩梯子
23	廻沢線5号橋	メグリサワセン5ゴウキョウ	9.4	市道廻沢線	徒歩梯子
24	宮前橋	ミヤマエバシ	9.5	市道竹之花大沢線	徒歩梯子
25	日陰島橋	ヒカゲシマバシ	9.5	市道滝沢滝ノ谷線	徒歩梯子
26	1008号橋	1008ゴウハン	9.6	市道1地区11号線	徒歩梯子
27	新寿橋	シンジュバシ	9.6	市道野田沢本線	徒歩梯子
28	3126号橋	3126ゴウハン	9.7	市道3地区245号線	徒歩梯子
29	野田沢橋	ノタザワバシ	9.9	市道野田沢本線	橋梁点検車
30	全慶寺橋	ゼンケイジバシ	10	市道7地区218号線	徒歩梯子
31	松井橋	マツイバシ	10.2	市道6地区377号線	徒歩梯子
32	西方奥御堂山橋	ニシカタオクミドウサンバシ	10.4	市道西方中里線	徒歩梯子
33	6105号橋	6105ゴウハン	10.5	市道6地区408号線	徒歩梯子
34	入野会下1号線1号橋	イリノカインモ1ゴウセン1ゴウキョウ	10.5	市道入野会下1号線	徒歩梯子
35	8055号橋	8055ゴウハン	10.7	市道8地区151号線	徒歩梯子
36	7011号橋	7011ゴウハン	11.3	市道7地区69号線	徒歩梯子
37	7026号橋	7026ゴウハン	11.4	市道7地区106号線	橋梁点検車
38	新南新屋2丁目橋	シンミナミアラヤ2チョウメバシ	11.4	市道新南新屋中央線	徒歩梯子
39	下之郷横見橋	シモノゴウヨコミバシ	11.5	市道横見中ノ合線	徒歩梯子
40	水上八反田橋	ミズカミハチタンダバシ	11.5	市道水上内瀬戸線	橋梁点検車
41	さんげんや歩道橋	サンゲンヤホドウキョウ	11.8	市道4地区130号線	橋梁点検車
42	谷川山橋	ヤカワヤマバシ	11.8	市道谷川本線	橋梁点検車
43	樋の沢橋	トイノサワバシ	12	市道谷川本線	橋梁点検車
44	8044号橋	8044ゴウハン	12.1	市道8地区126号線	橋梁点検車
45	一里山橋	イチリヤマバシ	12.5	市道7地区157号線	橋梁点検車
46	8009号橋	8009ゴウハン	12.9	市道8地区40号線	徒歩梯子
47	滝口橋	タキグチバシ	12.9	市道滝沢滝ノ谷線	徒歩梯子
48	釜ノ沢橋	カモノサワバシ	13	市道滝沢滝ノ谷線	橋梁点検車
49	1041号橋	1041ゴウハン	13	市道1地区55号線	徒歩梯子
50	新田橋	シンデンバシ	13.6	市道青羽根本線	橋梁点検車
51	中央橋	チュウオウバシ	13.6	市道1地区135号線	徒歩梯子
52	8083号橋	8083ゴウハン	14	市道8地区242号線	徒歩梯子
53	東浦橋	ヒガシウラバシ	14	市道5地区331号線	橋梁点検車
54	さかい橋	サカイバシ	14.1	市道青羽根本線	徒歩梯子
55	清水橋	シミズバシ	14.4	市道1地区52号線	ローブアクセス
56	日向橋	ヒムカイバシ	14.8	市道青羽根本線	橋梁点検車
57	宮前橋	ミヤマエバシ	14.9	市道滝沢滝ノ谷線	徒歩梯子
58	萩の平橋	ハギノダイラバシ	15	市道8地区143号線	ローブアクセス
59	不動橋	フドウバシ	15.1	市道滝沢滝ノ谷線	ローブアクセス
60	神成島歩道橋	カミナリジマホドウキョウ	18	市道自歩線35号線	高所作業車
61	森山橋	モリヤマバシ	18.4	市道玉取森山線	ローブアクセス
62	高橋	タカハシ	19.7	市道岡部平治ノ谷線	橋梁点検車
63	霜平橋	シモダイラバシ	21.7	市道8地区149号線	橋梁点検車
64	宮島後沢3号橋	ミヤジマウシロザワ3ゴウキョウ	29.8	市道新舟後沢3号線	ローブアクセス
65	渡御橋	トウギョバシ	37.5	市道1地区275号線	橋梁点検車
66	相の田橋	アイノタバシ	37.9	市道1地区216号線	ローブアクセス
67	折戸橋	オリドバシ	38	市道1地区273号線	ローブアクセス
68	助宗新橋	スケムネシンバシ	78.5	市道葉梨稲葉線	橋梁点検車
69	堀之内高架橋	ホリノウチコウカキョウ	130.6	市道7地区473号線	高所作業車
70	ふれあい大橋	フレアイオオハシ	118.2	市道青木藤枝線	ローブアクセス＋高所作業車
71	運動公園大橋	ウンドウコウエンオオハシ	128.9	市道7地区473号線	橋梁点検車

令和 7 年度（道補）橋梁点検（堀之内外）業務委託

特記仕様書

第 1 条（適用）

本特記仕様書は、藤枝市（以下「発注者」という。）が実施する。「令和 7 年度（道補）橋梁点検（堀之内外）業務委託」（「本業務」という。）に適用する。

第 2 条（業務目的）

本業務は、発注者が管理する橋梁について、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」に基づき橋梁点検を行い、現橋の損傷状況を把握し、安全かつ円滑な交通の確保と合理的な維持管理のための基礎資料とすることを目的とする。

第 3 条（適用基準等）

本業務の実施に当たっては、本特記仕様書によるほか、次の各号に示す基準等に準拠して実施するものとする。

- （１） 静岡県業務委託共通仕様書 令和 6 年 1 2 月 静岡県交通基盤部
- （２） 道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）
令和 6 年 3 月 国土交通省 道路局
- （３） 橋梁定期点検要領 令和 6 年 9 月 国土交通省 道路局 国道・技術課
- （４） 静岡県橋梁点検マニュアル（令和 2 年度版）
令和 2 年 4 月 静岡県交通基盤部 道路局 道路整備課
- （５） 橋梁における第三者被害予防措置要領（案）
平成 2 8 年 1 2 月 国土交通省 道路局 国道・防災課
- （６） その他 関連基準

第 4 条（業務内容）

本業務の業務内容は、次の各号に示すとおりとする。なお、項目に変更が生じた場合は監督員と協議を行うものとする。

1 橋梁点検

（１） 計画準備

ア 業務計画書作成

共通仕様書第 1112 条および特記仕様書に基づき、業務計画書を作成し監督員に提出する。

イ 資料収集・整理

業務目的を把握した上で、橋梁台帳、前回点検結果等、点検に必要な既存資料を収集整理する。

ウ 現地踏査

現地踏査により橋梁の変状（劣化・損傷等）の程度を把握するほか、近接方法（点検車、梯子、足場等）、交通規制方法について検討する。

エ 点検実施計画書作成

現地踏査終了後、速やかに橋梁点検実施計画書を作成し監督員に提出する。

なお、実施計画書に記載する事項は、次に示すとおりとする。

- （ア） 業務内容
- （イ） 現地調査結果
- （ウ） 橋梁位置図
- （エ） 橋梁点検方法
- （オ） 実施体制（診断員、点検員、点検補助員等）
- （カ） 実施工程表
- （キ） 仮設備計画（使用建設機械）
- （ク） 安全管理計画（交通規制を含む）
- （ケ） 環境対策
- （コ） 連絡体制（緊急時連絡体制も含み）
- （サ） その他監督員が必要と認めたもの

（２） 橋梁点検（定期点検）

適用基準等に準拠し、橋梁点検を実施する。

ア 調査方法

調査手法については、次の各号に示すとおりとし、調査内容については、道路橋定期点検要領に基づき実施する。

- （ア） 基本としてすべての部材に近接して部材の状態を評価する。
- （イ） 近接目視は、肉眼により部材の変状等の状態を把握し評価が行える距離まで接近して目視する。
- （ウ） 近接目視による変状の把握には限界がある場合もあるため、必要に応じて触診や打音検査を含む非破壊検査技術などの適用を検討する。なお、土中部等の部材については、周辺の状態などを確認し、変状が疑われる場合には、必要に応じて試掘や非破壊検査を行う。
- （エ） 第三者被害が想定される部位は、触診や打音検査により変状状態を把握するとともに、処理を行うものとする。
- （オ） 近接目視が物理的に困難な場合は、技術者が近接目視によって行う評価と

同等の評価が行える方法を検討する。

※橋梁点検中に交通に危険を伴うような著しい損傷を発見したときは、速やかに監督員に報告するものとする。

イ 損傷の評価

損傷程度の評価は、「道路橋定期点検要領」及び「藤枝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき行うものとする。

ウ 点検の記録

橋梁点検結果については、「道路橋定期点検要領」に基づき要領が定める様式により整理を行うものとする。なお、損傷状態は、様式に整理する。

また、健全性診断Ⅳ、Ⅲ、Ⅱと判定された橋梁については、前回点検時の損傷図と比較し、経年劣化がわかるように損傷図をとりまとめるとともに、各部位ごとに損傷図として経年劣化がわかるようにとりまとめることとする。

(3) 報告書作成

点検結果のデータ整理、橋梁一般図の編集、橋梁点検調査表の作成、損傷図の作成、損傷写真等の編集を行い、報告書を作成する。点検結果に関する帳票類と橋梁診断書をまとめて報告を作成する。なお、点検記録表（国様式）の点検責任者の欄には、健全性の診断（Ⅰ～Ⅳ）まで行った点検員の氏名を記入すること。

また、各橋梁の点検結果を照査・確認するとともに、橋梁診断を行い、その結果を橋梁診断書として作成する。診断書は、健全度判定、主要な損傷に対する所見、損傷に対する処方、委託者への報告等から構成され、橋梁点検調査表とは別途作成すること。

第5条（管理技術者）

本業務では、藤枝市業務委託契約約款及び共通仕様書第1107条で規定する管理技術者を配置しなければならない。なお、本業務の管理技術者については、以下のいずれかの資格を有することとする。

- 1 技術士（総合技術監理部門：鋼構造及びコンクリート、又は道路）
- 2 技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート、及び道路）
- 3 RCCM（鋼構造及びコンクリート、又は道路）
- 4 土木学会認定技術者（特別上級、上級、1級：メンテナンス）
- 5 コンクリート診断士

なお、管理技術者は、第6条に該当する資格を有する場合、担当技術者を兼務できる。

第6条（担当技術者の配置及び資格）

橋梁点検は以下1～4いずれかの資格を有する者が行い、1つの橋梁について点検か

ら診断まで同一者が行うこと。

- 1 技術士（総合技術監理部門：鋼構造及びコンクリート、又は道路）
- 2 技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート、又は道路）
- 3 RCCM（鋼構造及びコンクリート、又は道路）
- 4 土木鋼構造診断士
- 5 国土交通省登録技術者資格者（施設分野等：橋梁一業務：診断）として認められた資格

※5のうち、該当する橋種のみ診断を行うことができる資格は、点検対象橋梁がコンクリート橋と鋼橋の両方が混在する場合、双方の資格を有していなければならない。ただし同一者に限らない。

複数の点検対象橋梁がある場合には、複数の担当技術者を配置しても良い。

上記資格を有しない者は点検補助員とする。

第7条（橋梁点検における安全管理）

- 1 受注者は、点検作業中において気象庁より気象注意報、警報等が発せられた場合、状況に応じて業務中断の措置を講じるものとし、これに伴う一般交通等第三者に対する安全及び業務現場内の安全を確保するため必要な保全処置を講じなければならない。
- 2 受注者は、点検作業中において交通状況に即した適切な保安施設等を設けるなどして、安全管理に努めるものとする。
- 3 第三被害が生じる恐れのある橋梁においては、管理者と協議を行い、教示事項を含めた安全対策を講じること。協議内容については、監督員と協議すること。
- 4 交差河川においては、流域の降雨量状況を把握し、安全対策を講じること。

第8条（新技術の活用）

橋梁点検を実施するにあたって、国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）登録されている新技術の活用を積極的に提案し、発注者と協議を行い、議事録等に記録すること。

第9条（打合せ協議）

打合せ協議は、4回（中間2回）以上とし、初回と成果品納品時には管理技術者が立ち会うものとする。また、他機関との協議が必要な場合には、必要に応じて立ち会うものとする。

第10条（成果品）

成果品は、次に示すとおりとする。

- | | | |
|---|-------------------------|----|
| 1 | 橋梁点検結果報告書（A4版、パイプ式ファイル） | 1部 |
| 2 | 電子媒体（CD-R） | 1部 |
| 3 | その他、発注者が必要とするもの | 1式 |

第11条（疑義）

本業務の実施に当たり、疑義が生じた場合は、発注者、受注者双方の協議により定めるものとする。

第12条（安全管理）

受注者は本業務の実施に当たり、次の各号に示す安全管理を行うものとする。

1 基本方針

- （1） 監督員との連絡を密にし、現地立入の日程や現地での住民対応の状況等を随時報告、連絡、相談する。
- （2） 診断員、点検員、点検補助員等に対し、安全等について留意すべき点を指示し、周知徹底を図る。
- （3） 診断員、点検員、点検補助員等は、携帯電話等を携帯し、常に連絡の取れる状況におく。
- （4） 調査現場まで車両で移動する際は、出発から帰着するまでが業務上の行為であることを認識し、交通事故等のないように十分に留意し、安全運転に努める。

2 安全確認

（1） 調査前の安全確認

- ア 安全管理に必要な携行品（救急医療セット、通信機器、連絡体制表等）を確認、準備する
- イ 車両等、適切な装備を点検・準備する。
- ウ 調査期間にわたる気象状況の傾向の把握を行う。
- エ 現地踏査で危険要素を発見したら、速やかに確実に是正する。

（2） 調査時の完全確認

- ア 適切な服装（作業服）、ヘルメット（または作業帽子）を着用する。
- イ 業務中、事故が発生した場合は、病院、警察署等へ連絡して、必要な措置を講

じるとともに、監督員に報告し、その指示に従う。

ウ 車両、調査機器の点検及び交通法規を遵守した安全運転に努める。

エ 地元住民への挨拶を適宜行い、トラブルのないように留意する。

オ 随時、安全確認の連絡を行う。

カ 気象情報等による天候、気象状況等の確認を行う。

キ 現地調査時は、通行者、通行車両等に十分気を付ける。

(3) 行政情報流出防止対策

本業務では、未公開資料の取扱注意、借用資料の管理・返却、診断員、点検員、点検補助員等への周知等、「業務における行政情報流出防止対策の基本的事項」を遵守することにより、本業務の履行に関する全ての行政情報について適切な流出防止対策を行う。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本業務の作業に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、業務の作業に当たって交通整理等を行うときは、公共事業の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に作業を実施しなければならない。

2 受注者は、業務の作業にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、業務の作業にあたって交通整理等を行った場合、作業完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 業務代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 業務代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現地に到着するまでの間、交通誘導を要する作業は控えるものとする。

4 業務代理人は、作業区域内において、複数の他事業が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他事業との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

委託業務の品質確保における特記仕様書（標準）

本業務の品質確保を徹底するため、引渡し後の成果物の品質に関し、留意事項を定めるものです。

1 設計図書等の作成（工事関連業務）

成果物の引渡し後であっても、次に記載する事項で発注者の指示があった場合においては、原則として無償で設計図書等の作成及び修正を行うものとする。

（ア）設計と現場の乖離（設計と現場が合わない）により設計変更が生じたとき

（イ）設計の不備・誤謬等により設計変更が生じたとき

2 設計内容についての助言等（工事関連業務）

（１）重要な事項等に関しては、必要に応じて関係者へ説明を行うなど、支障が生じないよう適切に対応するものとする。

（２）成果物の引渡し後であっても、発注者が設計内容についての助言等を求めた場合においては、適切に応じるものとする。

（３）受注者は、発注者の指示において本業務に係る工事を請け負う者から協議事項や質疑事項に関して問い合わせ等があった場合、これを発注者によるものとして、誠意をもって適切に対応するものとする。

3 委託業務共通事項

（１）受注者は、成果物に契約不適合があった場合、完了検査等に合格したことをもって免れるものではないため、成果物に修正を施すなど誠実に対応するものとする。

（２）受注者は、発注者より期待した成果物と実態が乖離していると指摘を受けた場合、前項各号と同様に誠意をもって適切に対応するものとする。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮 の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。